第1回 本町通り商店街エリア ウォーカブル勉強会

次第

日時:令和7年5月12日(月)

19:00~20:00

場所:本町チャレンジBASE

(Web 併用)

- 1. マルシェ「セキ日和」の開催について
- 2. ウォーカブルに向けた社会実験について
- 3. 今後の予定

<メモ欄>

目次

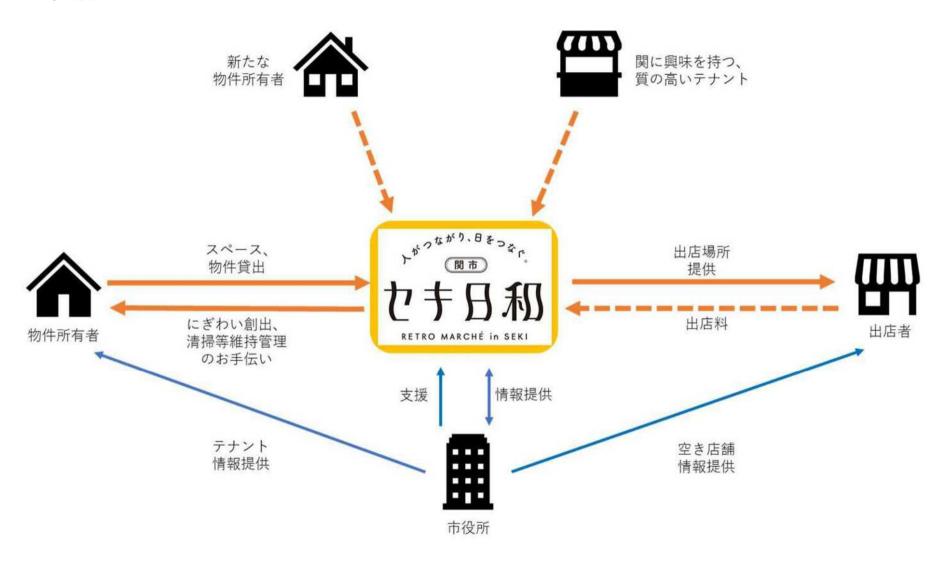
- 1. マルシェ「セキ日和」の開催について
- 2. ウォーカブルに向けた社会実験について
- 3. 今後の予定

第1回本町通り商店街エリアウォーカブル勉強会

1. マルシェ「セキ日和」の開催について

1. セキ日和について

■実施スキーム



2. 過去の開催状況









SEKIBIYORI 2024 SEKIBIYORI 2024

2. 過去の開催状況









SEKIBIYORI 2024

SEKIBIYORI 2024

2. 過去の開催状況



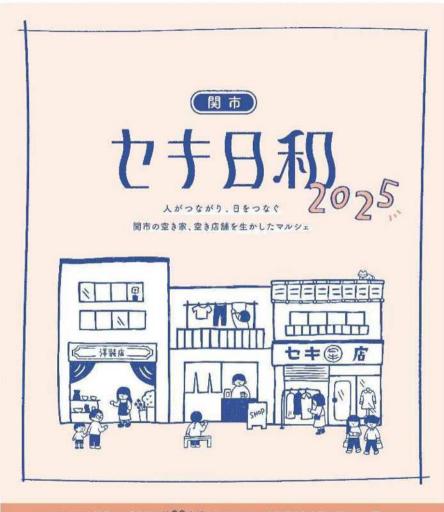






SEKIBIYORI 2024 SEKIBIYORI 2024

2. セキ日和2025の開催概要



キッチンカーや雑貨など2日間で約90店舗出店!かつての本町通り商店街の賑わいが戻ってくる!

5.17× 18× 10:00







【開催概要】

■日時

令和7年5月17日(土)、18日(日)の2日間 各日10時~16時 ※雨天決行

■場所

- 本町3丁目から本町8丁目
- せきてらす

【内容】

- 実際の空き店舗や空き家に出店し、2日間だけかつてのようなお店が立ち並び人々が行きかう本町通り商店街を作り出す
- 出店者 「関でお店を持つ」希望を持ちやすくする
- 物件所有者 「人にスペース・家を貸す」イメージが湧き やすくする
- 今回のイベントでは、<u>17箇所の空き店舗、</u> 空きスペースを使用、2日間で92店舗が出店

<参考>来場者数

- · 令和5年度 約3,000人 (2日間合計)
- ・令和6年度 約2,000人(2日目は雨天により中止)

3. セキ日和2025の開催概要



3. セキ日和2025の開催概要



第1回本町通り商店街エリア ウォーカブル勉強会

2. ウォーカブルに向けた 社会実験について

1. 社会実験の目的

【市街地中心部の現況】

- 市街地中心部を回遊できる遊歩道整備を実施(R3年度~R7年度)
- 本町通り商店街の空き店舗を活用したマルシェや地域住民主催イベントの開催
- 歩行者の利便増進を図るため、道路区域外に滞留施設を設置
- 道路空間再編を見据えた歩道や軒先を活用した生活社会実験の実施、検証(R6年度~)









【将来的な取組目標】

- <u>歩行者利便増進道路への指定</u>による道路占用の緩和、にぎわい創出
- 滞在快適性等向上区域を整備計画で位置づけ、官民一体による公共空間の創出
- 自動車交通の速度抑制、道路ネットワークの見直しによる市街地交通量の抑制
- 歩行者の安全性、快適性の向上

【社会実験の取組・目的】

- 歩行者中心の道路空間再構築への課題検証、整備内容の検討
- 自動車交通への影響調査(速度、交通流等)
- 沿道環境の変化に伴う歩行者の行動変容調査(滞在時間、歩行者通行量等)
- 沿道店舗への効果検証

1. 社会実験の目的

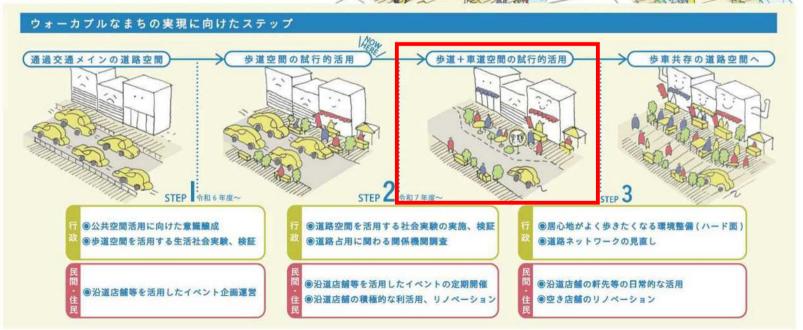
本町通り商店街 | 0 概要 ストリートデザイン | 0 概要 版

全国各地で街路空間を車中心から"人中心"の空間に再構築し、誰もが居心地よく、歩きたくなる「ウォーカブル」なまちづくりの取組が進められています。

本町 1 丁目から 8 丁目のエリアにおいても、 商いの促進、新規出店の促し、空地や幅員の活 用など地域の特性を踏まえたウォーカブルな取 組を行っています。

本町通りが単なる「場所」から新たな交流を 生む「居場所」へと変化し、訪れた人が滞在や 回遊したいと感じる魅力的な空間への変貌を期 待し、令和6年度には、ストリートデザイン ver1.0として、現時点の方向性をまとめました。





2. 検証内容

	検証①	検証②		
目的	・ 来訪者の滞在時間を延ばす休憩施設 等の設置	・ 歩行者と自動車の共存空間創出		
内容	・ <u>仮設的なパークレットの設置</u> により、 来街者のアクティビティを促し、滞 在時間の検証や行動分析を行う	 物理的・視覚的な誘導により、自動車交通の速度抑制、交通量抑制を促し、歩行者が安全に通行できる環境を検証する 検証結果を踏まえ、将来的なハード整備に向けた基礎資料とする 		
検証	滞在時間行動調査経済影響調査(店舗売上等)交通影響調査 など	・ 交通影響調査・ 速度調査・ 歩行者量調査 など		
イメージ				

金華橋ストリートパークライン2024 (岐阜市)

ほこみち社会実験@会津若松(出典:西村亮彦都市研究所)

<参考>パークレットについて

- パークレットは、サンフランシスコ発祥の路上駐車帯を活用し滞留空間を創出する取組
- 日本国内の事例では、歩道と路肩や停車帯の一部を活用し滞留空間を創出する取組に加え、歩道のみを活用した事例についてもパークレットと呼ばれている

■パークレットの事例





■法制度の位置づけ

- パークレットは、歩道、路肩、停車帯にて、ほこみち制度による占用物件や、 道路附属物として設置される施設である。
- ・ ほこみちの適用条件を満たす道路については、民間の創意工夫を反映することを目的に、長期間にわたる施策の実施や投資回収の観点も含め、ほこみち制度の活用が地域にとって有益となる場合もある

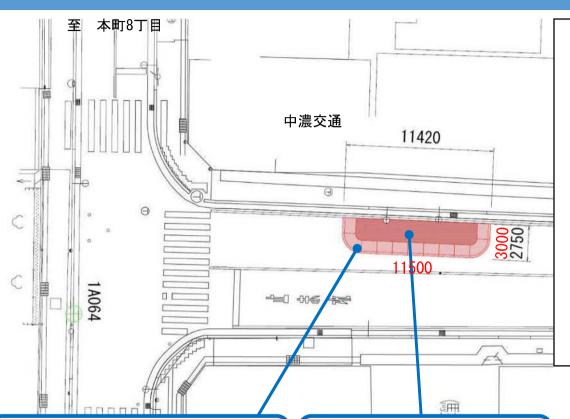
步	車道部(路肩、駐車帯)	
占用(ほこみち)	道路附属物	道路附属物
・広告塔又は看板 ・食事施設、購買施設他 ・自転車駐車器具で自転車を賃 ・資する事業の用に供するもの ・標識、旗ざお、幕、アーチその他これらに類する物件 ・ベンチ、街灯その他これらに 類する工作物	・道路管理者が管理する施設や 工作物(道路標識、防護柵 等)	・ベンチ、テーブル、パラソ ル、植栽、車両用防護柵等

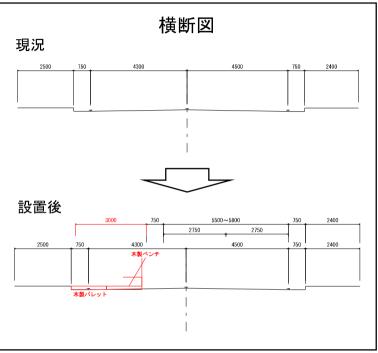
出典:多様な二一ズに応える道路ガイドライン (令和4年3月 国土交通省道路局)

3. 実施場所



4. パークレットの設置概要











空間イメージ

第1回本町通り商店街エリア ウォーカブル勉強会

3. 今後の予定

1. 今年度の勉強会位置づけ

ウォーカブル勉強会 (令和6年度)

■目的

- ・ 本町通り商店街エリアの公共空間や低未 利用地の利活用、交流空間の創出を図り、 誰もが居心地良く、歩きたくなる、にぎ わいのあるまちづくりを進める。
- ・ 地域住民の生活の質を高め、その地域に 住みたい人、住んで良かったと思う人、 外部からこの地域に関わってみたいと思 う人を増やす。

■対象者

- 地域住民、観光協会 · 商工会議所
- 教育機関
- 行政(庁内推進体制の構築)

■内容

- 先進事例の情報 収集
- 知見の共有
- 将来ビジョンの 策定
- 社会実験の実施、 検証



実施状況

ウォーカブル勉強会 (令和7年度)

■目的

- ・ 本町通り商店街エリアの公共空間や低未 利用地の利活用、交流空間の創出を図り、 <u>誰もが居心地良く、歩きたくなる、</u>にぎ わいのあるまちづくりを進める。
- ・ <u>地域住民の生活の質を高め、その地域に</u> 住みたい人、住んで良かったと思う人、 外部からこの地域に関わってみたいと思 う人を増やす。

■対象者

- 地域住民、観光協会 · 商工会議所
- 教育機関
- 地元企業、交通事業者
- 行政(庁内推進体制の構築)

■内容

- 先進事例の情報収集
- 知見の共有
- 将来ビジョンの更新
- 社会実験の実施、検証(定期開催)
- 景観まちづくり
- 産官学の連携
- 整備計画に関するワークショップ

